

裏面をよくお読みのうえご記入して下さい。

有機溶剤等健康診断結果報告書

8 0 3 0 2

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

記入例

労働保険を継続一括されている場合は、被一括事業場番号まで記入

労働保険番号	2 8 1 0 7 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 2	在籍労働者数	5 2 人
事業場の名称	自動車(株) 加古川工場	事業の種類	自動車整備業
事業場の所在地	郵便番号() 加古川市 町×丁目	電話番号(079)	-
対象年	7:平成 7 2 7 (6月~12月分) (報告2回目)	健診年月日	7:平成 7 2 7 1 1 4
健康診断実施機関の名称	医療法人社団 会 病院	健診実施機関が2以上あるときは、その各々記入	従事労働者数 受診労働者数
有機溶剤業務名	有機溶剤業務コード 0 8 0 9 1 0 (車両の塗装、部品の洗浄及び乾燥)	具体的業務内容	受診労働者数 1 2 人
他覚所見	実施者数 1 2 人 有所見者数 4 人	肝機能検査	実施者数 5 人 有所見者数 2 人
腎機能検査	1 2 人 2 人	眼底検査	
貧血検査		神経内科学的検査	
代謝物の検査実施者数(分布1~3の合計)	1 2 人	代謝物の検査が5以上ある場合は複数枚作成し記入	裏面の別表2参照
産業医	氏名 × (産業医印)	所属医療機関の名称及び所在地	加古川市 町 丁目 会 病院

1年間を通じ順次健診を実施して、一定期間をまとめて報告する場合は、その期間を記入。また、この場合の健診年月日は報告日の最も近い健診年月日を記入

常時使用する労働者数を記入

日本標準産業分類の中分類を記入

健診年月日現在の人数を記入

報告対象とした健診実施年を記入

報告日に最も近い健診年月日を記入

有機溶剤業務名については裏面別表1の該当コード番号を全て記入し()内には具体的作業内容を記入。当該コードが4以上ある場合は複数枚作成し記入

裏面の別表1参照

有機溶剤業務に常時従事する労働者数を記入

各健診項目の有所見者の合計でなく、他覚所見以外の各健診項目のいずれかが有所見であった者の人数を記入。受診労働者数 所見のあった者の人数 各健診項目で最も多の有所見者数(他覚所見を除く)

健診の結果、要医療、要精密検査等医師による指示のあった人数を記入

産業医を選任している事業場(労働者数が50人以上の事業場)は産業医の氏名を記載し押印するか、署名が必要。

27年12月14日

事業者職氏名

加古川工場長 ×

加古川労働基準監督署長殿



様式第3号の2（第30条の2関係）（裏面）

備考

- 1 表示された枠（以下「記入枠」という。）に記入する文字は、光学的文字読取装置（OCR）で直接読み取りを行うので、汚したり、穴をあけたり、必要以上に折り曲げたりしないこと。
- 2 記入すべき事項のない欄又は記入枠は、空欄のままとして。
- 3 記入枠の部分は、必ず黒のボールペンを使用し、様式右上に記載された「標準字体」になって、枠からはみ出さないように大きめのアラビア数字で明りょうに記載すること。
- 4 「対象年」の欄は、報告対象とした健康診断の実施年を記入すること。
- 5 1年を通し順次健診を実施して、一定期間をまとめて報告する場合は、「対象年」の欄の（月～月分）にその期間を記入すること。また、この場合の健診年月日は報告日に最も近い健診年月日を記入すること。
- 6 「対象年」の欄の（報告回数）は、当該年の何回目の報告かを記入すること。
- 7 「事業の種類」の欄は、日本標準産業分類の中分類によって記入すること。
- 8 「健康診断実施機関の名称及び所在地」の欄は、健康診断を実施した機関2以上あるときは、その各々について記入すること。
- 9 「在籍労働者数」、「従事労働者数」及び「受診労働者数」の欄は、健診年月日現在の人数を記入すること。なお、この場合、「在籍労働者数」は常時使用する労働者数を、「従事労働者数」は別表1に掲げる有機溶剤業務に常時従事する労働者数をそれぞれ記入すること。
- 10 「有機溶剤業務名」の欄は、別表1を参照して、当該コードをすべて記入し、（ ）内には具体的業務内容を記載すること。
- 11 「腎機能検査」には、尿中の蛋白の有無の検査の結果を含むこと。
- 12 「代謝物の検査」の欄の有機溶剤の名称等は、別表2を参照して、それぞれ該当するすべての有機溶剤コードおよび検査内容コードを記入すること。また、「代謝物の検査」の欄の分布は、別表2を参照して、該当者数を記入すること。
- 13 「有機溶剤業務名」及び「代謝物の検査」の欄について記入枠に記入しきれない場合については、報告書を複数枚使用し、2枚目以降の報告書については、記入しきれないコード及び具体的業務内容のほか「労働保険番号」、「健診年月日」及び「事業場の名称」の欄を記入すること。
- 14 「有所のあった者の人数」の欄は、各健康診断項目の有所見者数の合計ではなく、健康診断項目のいずれかが有所見であった者の人数を記入すること。ただし、他覚所見のみの者は含まないこと。
- 15 「医師の指示人数」の欄は、健康診断の結果、要医療、要精密検査等医師による指示があつた者の数を記入すること。
- 16 「産業医の氏名」の欄及び「事業者職氏名」の欄は、氏名を記載し、押印することに代えて、署名することができる。

別表1

コード	有機溶剤業務の内容
01	有機溶剤等を製造する工程における有機溶剤等のろ過、混合、攪拌（かくはん）、加熱又は容器若しくは設備への注入の業務
02	染料、医薬品、農薬、化学繊維、合成樹脂、有機顔料、油脂、香料、甘味料、火薬、写真薬品、ゴム若しくは可塑性又はこれらのものの中間体を製造する工程における有機溶剤等のろ過、混合、攪拌（かくはん）又は加熱の業務
03	有機溶剤含有物を用いて行う印刷の業務
04	有機溶剤含有物を用いて行う文字の書込み又は描画の業務
05	有機溶剤等を用いて行うつや出し、防水その他物の面の加工の業務
06	接着のためにする有機溶剤等の塗布の業務
07	接着のために有機溶剤等を塗布された物の接着の業務
08	有機溶剤等を用いて行う洗浄（コード12に掲げる業務に該当する洗浄の業務を除く。）又は払しょくの業務
09	有機溶剤含有物を用いて行う塗装の業務（コード12に掲げる業務に該当する塗装の業務を除く。）
10	有機溶剤等が付着している物の乾燥の業務
11	有機溶剤等を用いて行う試験又は研究の業務
12	有機溶剤等を入れたことのあるタンク（有機溶剤の蒸気の発散するおそれがないものを除く。以下同じ。）の内部における業務

別表2

有機溶剤コード	有機溶剤の名称	検査内容コード	検査内容	単位	分 布			
					1	2	3	4
11	キシレン	1	尿中のメチル馬尿酸	g/l	0.5以下	0.5超	1.5以下	1.5超
30	N・N-ジメチルホルムアミド	1	尿中のN-メチルホルムアミド	mg/l	10以下	10超	40以下	40超
35	1・1・1-トリクロロエタン	1	尿中のトリクロロ酢酸	mg/l	3以下	3超	10以下	10超
37	トルエン	2	尿中の総三塩化物	mg/l	10以下	10超	40以下	40超
39	ノルマルヘキサン	1	尿中の馬尿酸	g/l	1以下	1超	2.5以下	2.5超
		1	尿中の2・5-ヘキサジオン	mg/l	2以下	2超	5以下	5超

- 1 記入枠内部は、必ず黒のボールペンを使用し枠からはみ出さないよう記入して下さい。
- 2 様式第3号の2はOCR様式となっており、複写したも等は使用できません。
- 3 記入枠を訂正する場合は、下記例のとおりとして下さい。

例（2を1に訂正する場合）

2 | 3

- 1 記入枠内部は、必ず黒のボールペンを使用し枠からはみ出さないよう記入して下さい。
- 2 様式第6号はOCR様式となっており、複写したも等は使用できません。また、B5サイズは使用できません。

- 1 提出代行：社会保険労務士による提出代行の場合は、社労士法に基づく氏名を記載して押印して下さい。また、押印することに代えて、署名することができます。
- 2 様式：ご提出いただく様式は、OCR帳票です。必ず兵庫労働局のホームページから印刷して下さい。また、決められた手順で印刷されなかった場合には読取できないことがあります。その際には、改めて窓口で様式に書きなおしていただくことがあります。
- 3 兵庫労働局ホームページのアドレス：<http://hyogo-rodoukyoku.jsite.mhlw.go.jp>